



やまぶき  
同志会

### 〇一〇二運動の認知度

若海 保

18

**問**市内の交通事故件数は昨年同期と比較して人身物損事故共に増加している。〇一〇二運動の認知度を高める等交通安全対策に取り組むべきでは。

**答**市民部長 〇一〇二運

動は安全な車間距離を保つため時間を距離に換算し前の車との間隔を二秒以上開けようというもの、埼玉県と県警を中心に十七機関・団体で結成

した安全車間距離保持運動実行委員会が推進している。ラジオ広報や街頭キャンペーン等で広く認知されるようになり、開始後は追突事故が年々減少したこと、着実に成果を挙げていると考え

る。市でもこれまで同様公用車にステッカーを貼付するほか、様々な機会を捉えて協力したい。

**問**交通安全対策等

新井 金作 19



やまぶき  
同志会

### ゴミゼロ運動について

**問**趣旨に賛同する市民・団体・企業参加の良い活動だが、高齢化の今日、内容・事故対応等再検討の必要があると思うがどのように考えるか。

**答**環境部長

ごみゼロ運動は清掃活動を体験し市民としての誇りと自覚を身につけ、ごみを投げ捨てない心を育てる等を目的としている。近年、高齢者の参加も多く、清掃

活動は体力的に負担と聴く。参加団体に「散乱ごみなどを片付ける」という趣旨を理解し危険な作業等には無理のないようお願いしているが、突発的な怪我や事故等も考えられるので、市で傷害保険に加入している。不幸にも事故に遭われた場合は保険での対応をしたい。

**問**クリーン川越市民運動  
**問**道・水路の市民要望



公明党  
清水京子

### 川越市駅のバリアフリー化

20

**問**住民要望の強い川越市駅のバリアフリー化についての進捗状況は、どのようになっているか。

**答**都市計画部長

川越市駅のバリアフリー化については、東武鉄道との協議の結果、本年度の実施を確認している。具体的には、駅入口階段部分へのスロープ設置と多目的トイレの設置、エレベーター利用者専用の跨線

橋を新設し、改札を入った所に各ホームとつながるエレベーターを一基、上下線ホームに各一基ずつで合わせて三基のエレベーターを設置する計画で

ある。東武鉄道によると、九月頃に工事に着手し、翌年三月の完成を予定している。

**問**川越市駅と周辺対策  
**問**市営住宅  
**問**学校教育

公明党  
少澤 哲也 21



### 調整区域の生活排水の改善

**問**下水道の予定が立たない調整区域で、生活排水に苦慮している地域の合併浄化槽の放流先となるインフラ整備に対する市長の考え方を伺いたい。

**答**市長

公共下水道の全体計画区域にあり、当面整備予定の立たない認可区域外地区に、合併浄化槽の放流先となる水路や道路側溝を整備後長期間を経ずに下水道を整備し

ても、これらは雨水排除という本来の機能を発揮する施設として残るので、水路・側溝等の整備が無駄になるとは言えない。しかし、合併浄化槽からの放流受入れを前提に水路・側溝等を整備することについては、効率的な公共投資の観点から多角的に検討する必要がある。

**問**公共資産等の維持管理  
**問**調整区域の排水の改善



民主党  
山木綾子

### 相談体制の充実！

22

**問**本庁内の女性相談を充実し、女性相談のワンス・テップ化を計ると共に、「配偶者暴力相談支援センター」の一日も早い設置を望む。

**答**市民部長

平成十九年のDV防止法の改正により、市町村が設置する適切な施設において配偶者暴力相談支援センターの機能を果たすよう努めることとなった。その業務

の中心は被害者の相談に応じることであるが、他に被害者の医学的・心理学的指導、緊急時の安全確保及び一時保護、及び自立した生活に向けた援助の実施等が求められている。配偶者暴力相談支援センターをできるだけ早期に設置できるように、体制の整備に努めたい。

**問**男女共同参画の推進  
**問**公共施設予約システム

早共党  
柿田 有一 23



### 責任明確化する条例制定を

**問**産業振興を効果的にすすめるには中小企業振興基本条例で理念を示し、継続性や責任を明確にするべきではないか。

**答**石川副市長

産業の振興は雇用を通し市民のくらしを豊かにするとともに市の歳入増加に貢献するものであり、持続可能なまちづくりの為に非常に重要な分野である。現在、平成二十七年を

目標年次とする「川越市産業振興ビジョン2007」を策定し、計画的な産業振興への取組みを限られた予算と人員で積極的に推進している。中小企業振興基本条例の制定は条例制定の意義や効果を十分研究し、現行産業振興ビジョンが終了までの間に方向付けをしたい。

**問**産業振興施策  
**問**自転車駐車場の改善



稗夔 川口 知子 24  
農産物直売所新設の支援策

問 直売所新設に関する支援策として、市独自の補助基準の設置や経営の専門的知識をもつコーディネーターの人的支援について検討できないか。

答 石川副市長※ 直売所は地産地消推進の重要施設であり、スーパーの地場産コーナー充実や朝市開催等と共にその増設を農業振興計画に位置付けている。今後は農家の意向を調査しつつ、国で実施中の直売所開設に利用できる三補助事業を考慮しながら市独自の補助の必要や効果を調査検討したい。安定経営の為の人的支援は、設立準備と開設後の経営診断をコンサルタントに依頼すると共に、国県の指導下で事業者と協議して検討したい。

問 スポーツ新聞の広告で現代のかけこみ寺と称し職も住居もない人を集め劣悪な環境、低賃金で人間を使いすぎる悪質な業者をしめだすべきだ！

答 石川副市長※ 実際は餃子を一日一万円以上売らないと赤字になるとの相談が市に寄せられている。この業者は許可なく惣菜製造を行っている為、保健所が再三の指導を行っている。悪徳業者をしめだせ



稗夔 佐藤 恵士 26  
悪徳業者をしめだせ

問 南古谷駅の西側、東側の踏切改良については、早急に実施されるべきと考えますが、どのような状況となっているのか、伺いたい。

答 建設部長 南古谷駅西側の浦和県道踏切は、現在、川越県土整備事務所で事業中であり、駅周辺の県道整備事業の完成後、引き続き、当踏切を含めた道路整備事業に取り組むよ

問 南古谷駅の踏切改良 東側の浦和川越新道踏切は地元小中学校の通学路に指定しており、朝夕は児童生徒及び駅利用者や通過車両等による交通が輻輳する場所と認識していることから、当踏切周辺の道路計画を検討する中で、JRや関係機関との協議を行っていききたい。



稗夔 本山 修一 25  
市指定文化財・原田家住宅

問 貴重な文化財原田家住宅を県指定にし保存を図り将来へ残していくべきではないか見解を求めます。

答 教育長※ 原田家住宅の文化的な価値については、市としても十分に認識しているところであり、昭和五十九年に店蔵部分を市の有形文化財・建造物に指定し、さらに今年度の二月、敷地全体を記念物・史跡に指定して



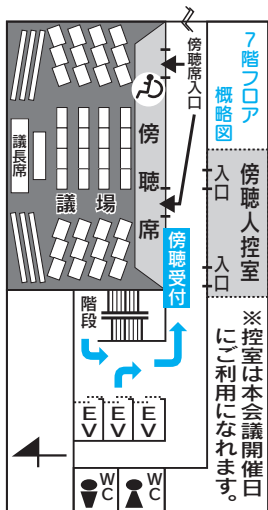
市 民 フォーラム 高橋 剛 27  
南古谷駅の踏切改良

問 南古谷駅周辺整備 東清掃センターの今後

う県に働きかけたい。駅東側の浦和川越新道踏切は地元小中学校の通学路に指定しており、朝夕は児童生徒及び駅利用者や通過車両等による交通が輻輳する場所と認識していることから、当踏切周辺の道路計画を検討する中で、JRや関係機関との協議を行っていききたい。

市議会本会議は、どなたでも傍聴できます！  
一般席57席、車椅子用スペース(1台)があります。先着順での受付になります。

- 傍聴までの流れ**
- 市役所本庁舎7階へ(エレベータ又は階段をご利用ください)
  - 傍聴受付で傍聴希望をお伝え下さい。
  - 傍聴券に必要な事項(氏名等)をご記入の上、傍聴券(半券)をお受けとり下さい。
  - 議場入口(2箇所)より傍聴席にお進み下さい。一般席(57席)は自由席です。立見、床に腰掛けての傍聴はできません。
  - 本会議中でも傍聴席への出入りは自由です。傍聴券は発券当日に限り有効となりますので、お帰りの際は傍聴券を傍聴受付にご返却下さい。



▼ 入所施設で暮らしている重度障害者の通院・買い物・余暇活動

平成二十二年第一回定例会で継続審査とし、五月六日に厚生常任委員会にて採択としました。

▼ 川越市大字下老袋地内に建設予定の墓地に対して反対を求める請願書

採択

平成二十二年第一回定例会で継続審査とし、五月六日に厚生常任委員会にて採択としました。

▼ 等を支援するヘルパー制度の拡充等を求める請願書

不採択

**議会情報**

請願